
第 5 期 町田市福祉のまちづくり推進協議会 町田市バリアフリー一部会
町田駅周辺地区協議会（駅点検） 第 2 回 会議録

開催日時：2009 年 8 月 25 日（火）午前 9 時 30 分～午後 4 時 30 分

開催場所：午前：健康福祉会館 4 階 講習室
午後：町田市文化交流センター 5 階 けやき西

出席会員：（敬称略・順不同）

吉田樹、風間博明、赤堀義信、桑原正弘、安野イヨ子、関根善一、小枝公一郎
田島隆子、林正己（代理：田口）、杉森俊彦（代理：高橋）、三木健明（代理：橋本）
皿嶋裕規、木美真（代理：河野）、垣見龍次、柳澤秀秋（代理：太田）、佐藤正志
栗田功一

調査員 11 名、関係各課職員 7 名

事務局：高橋豊都市づくり部長、渋谷晴久都市計画課交通計画担当課長、水野巖交通計画係長
奥村繁樹主任、保坂陽子主事、和田

【次第】

1. 開会及び説明
 2. 現地点検
 3. 課題マップの作成・発表
 4. まとめ
- *****

【資料】

- ◎本日のスケジュール
- ◎町田市バリアフリー基本構想策定に係る現地点検（ワークショップ）実施要領 駅点検
（町田駅周辺地区 現地点検参加者名簿）

【参考資料】

- バリアフリー基本構想でまちはこうなる！（国土交通省総合政策局安心生活政策課）

【議 事】

<開会>

省略

<部長挨拶>

省略

<職務代理より挨拶>

今日は現地点検ということで、町田駅のターミナル、J R、小田急などを現地点検見て行くわけですが、先日、武蔵野市でバス関係の現地点検を行った時に、いろいろな意見がでてきました。例えば、案内サインの問題などがでてきました。今日の点検でどういう視点で見えていただくかは、説明があると思いますが、皆さんが初めて町田の駅に降り立ったときに使いやすいかどうかという様にユーザー側からの視点で考えて頂くと、また新しい物事が見えてくると思いますので、そういった視点でご意見を頂ければと思っております。今日は1日よろしくお願い致します。

<確認事項>

会議録音・撮影、議事録の確認を部会長と職務代理にお願いすることについて了承を得た。

<資料確認>

省略

<現地点検の説明>

省略

<各グループに分かれて説明>

省略

<各グループに分かれて現地点検>

ルート1 J R町田駅

ルート2 小田急町田駅

ルート3 町田バスセンター～町田ターミナル

ルート4 ペDESTリアンデッキ

<昼休み>

<課題マップ作成の説明>

省略

<各グループに分かれて課題マップの作成>

省略

<グループ毎の発表>

課題マップを張り出して発表

1. ルート1

(A 会 員) 今日の調べたことについて説明させていただきます。図に張り紙がたくさんしてあるのでわかりにくいのですが、ここがJ Rの中央の改札口、こちらが小田電鉄の改札口、ヨドバシカメラがこちらになっております。J Rの駅全体について、我々の班が調べた結果を報告致します。

スタートいたしまして、通路(①丸井とルミネの間)についてどのような障がい、問題があるかを調べました。まず改札口を過ぎてヨドバシカメラの所へ向かって突き当りの所、2階になりますが、エレベーター(③)がございませう。このエレベーターは1階への連絡エレベーターでございませう。このエレベーターは、表示物が明確でなく、なおかつ少なくわかりにくい。細かい点でいうと、点字の位置、ボタンの色が判別しにくく、「開」か「閉」なのかがわかりにくい、中に音声案内がない、照明が暗く、狭い。エレベーターで1階に下りて行きますと、薄暗く、誘導用ブロックが不備であるとか、ここにエレベーターがあるということ自体がわかりにくいことが問題であります。

エスカレーター(⑥)で2階に戻りまして、券売機(⑦)の周辺をチェック致しました。その中で1番に気がついたことは、車いすで券売機の表示物を見た場合、電光パネルに色々なことが書いてあるのですが、それを低い位置から見ますと、パネルの角度が斜め上を向いている為に、上からの照明により全然見えなく、車いすの方には不便であると思ひました。

改札口付近(②)の電光掲示板1が改札口から離れたところに表示してあるので改札口に近い方がいいとか、商業看板が目立ちまして駅の看板が小さくて目立たない。

駅構内へ入る人と改札口から出る人の動線(案内)がないために混雑しているので、床面に動線の矢印をつけて頂いたらスムーズに流れると思ひました。

トイレ(⑨)は、中に入りまして男女の真ん中にみんなのトイレがあるのですが、そこが狭すぎて使い勝手が悪い、障がい者の方と出入りする人で混雑するということが課題でありました。

その他には駅構内でのエレベーターの表示などが小さくて見づらい。わかりにくさというのが問題となりました。

ホームでは、車いすで通りますと案内表示板が高すぎて見にくい。駅名の表示等につきまして、今は柱の1本おきに表示になっておりますが、全部にやって頂いた方が利用者にとっては便利であると思ひます。ホームの外側の看板がある方にも駅名の看板があった方がいいと思ひました。ホームのところに電光掲示板があった方がいいという意見がありました。

階段と誘導ブロックの間隔が広いところがあり、視覚障がい者の方には危険だという意見もありました。

電車の乗る方向に向かって傾斜があるところがあり、車いすの場合、傾斜の方へタイヤが流れて行ってしまつて危険である。大雑把な説明となりましたが、時間がまいりましたので、終了致します。

(事務局) ありがとうございます。何か質問はありますか。→質問なし
簡単に講評をお願いします。

(職務代理) 小田急の班とバスターミナルの班も同じだと思ひますが、かなり多くの部分を占めているのが、サイン計画に関する部分なのだと思います。つまり、番線の案内表示がわかりにくいことや、都心を走っている東急電車と違って「次は〇〇。ただいま町田です」など車内で電光表示がされていないので、ホームに表示が必

要であるが、すぐに町田駅とはわかりにくいことや、エレベーターの位置がよくわからないことや、サインがあっても商業看板に邪魔をされていることなど、案内サインの部分はどう計画するかが町田ではポイントになるということが指摘されていました。同じ様なことが小田急のところもでてくると思います。

2. ルート2

(B 会員) 小田急の調査報告を致します。小田急の方はごちゃごちゃしているのですが、スタートはJR線の方から流れてくる所、また町田の繁華街のところから流れている所でもあり小田急百貨店のエスカレーター前からスタート致しました。

スタートから通路を抜けて坂の所が北口でそこを通り、東口の通路を通り西口に行きました。まず、ここでの欠点は、所々に階段があるので、車いすで行った場合は、回れないという非常に大きなウイークポイントがありました。

券売機(①)のところでは、先程、JRの班も言っていました、電光パネルが見にくい、切符が取りにくいなどの問題がありました。

北口は車いすの方にとっては、2つの入口の1つなのですが、北口は坂の勾配がきつく危険であり、その上、荷物も出入りするので非常に利用しづらくなっています。

東口の改札外のトイレ(②)の案内板の表示では車いす用が1つしかない様に思われるので、男女別に表示した方がいいのではないかと思います。女性用のみんなのトイレは、入口から一番奥にあるので、使い勝手が悪いが、男性用は手前であって、ゆとりがありました。みんなのトイレの中にインターホンあるのですが、表示がないのがポイントでございました。

東口改札から入って行きますと、トイレ(④)があってトイレが左右に分かれています。分かれていることにより迷ってしまうという意見がでました。

改札からホームに行くためにエレベーターを利用して行きました。参加者の中には、小田急さんはとても親切なので、表示がなくてもいいのではないかという意見もでました。

ホームを抜けて、小田急百貨店に抜けるエスカレーターがあるのですが、エスカレーターを上って百貨店に入るところまでの誘導用ブロックが抜けていました。時間外は駅員がいないので、インターホンがあるのですが、案内が不明確でありわかりにくいです。

何階であるかの表示もありませんでした。

ホームへ下りるのに、片方がエスカレーターで片方が階段になっており、エスカレーターは上りしかない上に、階段は急であるという意見もありました。

ホームは特に問題はありませんでした。

西口改札を抜け南口に行く時に、東口改札の車いすも使えるトイレの案内がされているのですが、矢印の案内が適切ではなく、そのまま行ってしまうと階段がある通路に行ってしまうので、回っていかなければならないことがわかる案内にするべきだと思います。

全体的に、町田の案内板の全部にいえることであるが、車いすの方々に対する案

内ができていないと感じました。そうは言っても表示の仕方が複雑になるので検討していかなければいけないことだと思いました。以上でございます。

(事務局) ありがとうございます。何か質問はありますか。→質問なし
ないようなので吉田先生に講評をお願いします。

(職務代理) 先程のJRの所では言わなかったのですが、最後のご指摘でありましたように、どのように動き、迷わず安全に行きやすい経路というものを定める重要性を指摘されていたところがポイントだったと思いました。

一方、小田急の方では昔と比べ改良されてきれいになってきた印象があるのですが、例えばトイレで男性用に入るのか女性用に入るのかなど誘導が難しいところで、JRでよくやられているのが“せせらぎの音”でトイレだと認識してもらい、一步入ったら、「左は男性用、右は女性用、真ん中はみんなのトイレです」というのを音声で誘導している工夫がされているのですが、どこまで工夫されているのかという細かい指摘が後段の方ではあったのだと思います。JRと共通して出てきていましたが、券売機の液晶表示ですが、私はなんでこれに電気を灯すのかと思っているのですが、液晶画面は極めて光に弱いということがあります。私も失敗をしてしまったのですが、ある市でバスの発車案内表示を液晶カラーの大画面で作って、町の中で天井からぶら下げるといふ設計図を書いて、設置に向けて動き出すときに、たまたま技術者から指摘されたのが、「外に置くのはまずいです。外の太陽光が入ってしまうとほとんど見えないので修正しなければなりません。」と指摘を受けて、2~3週間前に焦ったことがありまして、それを思い出しながら聞いておりました。今、券売機は高度化されていて、特にPASMO、Suicaを使用している人が大半になってきつつあります。JRの券売機は、Suicaの画面しか出ていなくて、310円や190円などの表示にするためには、「切符」というボタンを押さないと金額が出てこないというところまで、昔に比べ買い方のスペックが上がってきているのです。視覚障がいの人には点字キーで対応しましょうということになってはいますが、そういうところのアプローチが不十分なのだと思います。かなり細かい所をどうしたらいいのかという指摘がJRの方のグループでもありましたし、小田急の方のグループにも共通してあったと思います。

3. ルート3

(C 会員) ルート3では、町田バスセンターから町田ターミナルを点検致しました。点検して気がついた点として、まとめてみました。

バス乗り場周辺(④)は、歩幅が十分に取れていましたが、所々狭く、歩きにくいところがありました。例えば、商品のはみ出しや駐輪場、カラーコーン等が置いてあって通りにくいところがありました。

今回、気がついたのは、夜間金庫手前に段差があり車いすでは操作できないということです。

誘導用ブロックが設置されている所は良かったのですが、色が周りの床と同じでわかりにくかったり、途中でブロックが切れていたりした所がありました。坂から上った小田急の入口や中央図書館やダイコクドラッグの所では、誘導用ブロッ

クが途切れていました。

一番気になったところは、スロープが大変多いということで、西友の所では、勾配が普通の倍近い14.6%という大変きつい所がありました。中央図書館に行くスロープ、大通りや東急ツインズの所などスロープが急でした。

歩行者天国の通りも歩道がとても混み合っていて、傾斜もつけてあって危ないところがありました。

タクシー乗り場に車いす専用の駐車場があるのですが、その傾斜がひどく、その前は車道となっているのでとても危険なので、何か印をつけるなりした対策を立ててほしいと思いました。以上です。

(事務局) ありがとうございます。

(一般参加者D) バスセンターが何故移動したのか神奈中に聞いてもよくわからなかったですし、上のテラスから下りることができないですし、工事がいつまでやっているのかもわからないですし、乗り場の上に屋根がなく、以前、どしゃぶりの中、立っていたことがあるのですが、市としてはどうするのかを伺いたいのですが。

(事務局) 今まで8番9番のバス乗り場が丸井側にあったのですが、それを東急ツインズ側へ移動しております。現状は上屋がないのですが、上屋を設置したい方向で考えております。もうしばらくご辛抱下さい。

テラスの工事は、9月末日に終わる予定です。

(一般参加者D) 神奈中に工事のことを車内放送してほしい。掲示板があるらしいのですが、我々には見えないので。

(E 会員) 検討させていただきます。

(事務局) 他に質問はございませんか。

(F 会員) バスセンターの真ん中の島で、もし地震が来たりしたときにエレベーターが止まってしまった時、エスカレーターも使えないですし、電動車いすは車いすの重さだけで100kg以上あるのです。それを人間の力で持ち上げて階段を上がるのは不可能なので、どこか1箇所を普段は柵でもかけておいてくれるといいので、段差を切って車道に出て誘導する場所があったらいいと思います。今は、どこもかしこも段差で下りることもできないし、行き場がないので、ただでさえ、エレベーターが点検中は動けないとか言われ、そこにずっと待っていたりしなければいけないことがあるので、誰が誘導するかという問題も出てくるけれども、段差を1箇所とって、災害時に車いすが簡単に逃げられるような場所を確保してほしいと思います。

(事務局) ありがとうございます。貴重なご意見として承ります。他に質問はございませんか。ないようなので吉田先生に講評をお願いします。

(職務代理) 今の指摘で災害時ということでしたけれども、最後おっしゃっていたように点検で止まる時もありますし、最近のゲリラ豪雨でいつ停電するかということもありますから、メインのルート以外に代替として使えるルートを考えるのも動線の計画には必要になってくるのではないのかと思いました。極めて重要な指摘であると思いました。

ルート3を一緒に回り、一番気になった所は、先程の8番9番のバス停を動かし

たという所なのですが、私は暫定的な処置だと考えたのですが、上屋をつけるということはそういうことではないということですね。町田のバスセンターは、駅に入ってくる路線数でいったら都内一だと思います。それくらいの本数と路線数が入ってくるので、狭いスペースの中で多くの本数と路線数を捌くというのは至難の業だと思いますが、だからと言って吹きさらしの所でお客様をお待たせしているのか、あるいは工事のときにポールの場所が変化するといったときに、案内が「調整中」という看板を設けたことしか見受けられず、ペDESTリアンデッキの上からでも確認することはできないということですから、初めて使う人にはやっぱりわからないと思います。視覚障がい者の方だけに限らず、初めて使う健常者にとってもわからないという状況ですから、バスターミナル問題としては重要な所です。

ある程度、今日歩いた歩道は整備されていると思いました。しかし、横浜銀行の脇の所にはバリケードが張っており、駐輪禁止となっていました。その後には、誘導用ブロックからはみ出して多くの自転車が駐輪している所もありました。ここでは、「役所から許可を得ましたので、ここは駐輪場に使っています」と張り紙がしてありました。小田急百貨店前のタクシー乗り場の所も車いすマークが書いてあり、そこで乗降できるとなっていました。そこは傾斜が急で使い勝手が悪い上に、一般の所と車いす用の2つタクシーの待ちあわせ場所があるということなど、歩道空間をどういう形で使っていくかということ、例えば、バスやタクシーは人が待ちますから人の待つ行列と人々が歩く動線をどういう形で切り分けていくか、道路をどううまく使っていくかという工夫が必要なのではないのかと考えながら歩いておりました。

4. ルート4

(G 会員) ルート4は、ルミネの所から西友、小田急の改札、モディを通って元に戻ってくるというルートを点検致しました。町田で40数年生活をしているのですが、生活圏の中であまり苦勞をしたことがなく不便さに慣れさせられてきて、あまり苦痛を感じなかったのですが、今日の点検により20点程の点検課題が出てまいりました。今回の発表では、8点に絞らせて頂き、皆さんも共通の認識をお持ちいただくと思います。

ルミネの前の誘導用ブロックが店の前で黄色から銀色に変わっていました。領有権の問題があるのだと思いますが、色が変わっていることが不便であるという指摘がありました。丸井の前でも誘導用ブロックが黄色から青色に変わってわかりにくい、床のデザインと区別がつかなく視覚障がいの方には不便であるという指摘がありました。

小田急ツインパルのスロープ(②)の所は、柵の下のレンガが手すりよりも出っ張っているため、曲がる時に足がぶつかってしまう、また車いすの方にとってはスロープが鋭角過ぎる上に幅が狭いので曲がりづらくなっており改善する必要があると思います。

パリオの入口のガラス戸の幅が狭く、車いすが通りにくくなっていました。通常、

片扉で入る場合に、幅が 680mm で通常よりも狭くなっていました。パリオの 5 階には八王子の年金相談センターという公共機関がございますので、公共機関があるところは誰でも入れるように改善を頂きたいと思います。

モディ入口までの誘導用ブロックがなく、視覚障がい者が出入りするのに不便です。

東急ツインズイーストの前のエレベーターでは、内部のガラスにマジックミラーをつけて、乗っている人と乗ってくる人がわかるようにして欲しいとの意見がありました。車いすの場合、ドア側が背中になるので、状況が見えなくなり危険なので、人の動きが見えるような設備をつけることが必要なのではないかと思います。

バスセンターのエレベーターの所に壁がありまして、車いすにとっては視覚が遮られ、左右の人の動きが見えなく危険です。柱の上にミラーが 2 つついているのですが、高いところについているため、ほとんどの人が気付かず見えていない状態ですので、改善を図って頂きたいと思います。

J R 町田駅の広場が、今、工事中で不便さがありますが、せつかく工事をして完成したときには、屋根を支える柱に障がい回避のためにプロテクターのような物を巻いて、車いすの方も視覚障がいの方もぶつかって怪我をしないようにすべきではなかろうという意見がでました。以上が、ルート 4 を回って気づいた点でございます。

(H 会 員) 説明に抜けていた所がありましたので、補足させていただきます。

案内板なのですが、案内板の手前にガラスがついていることにより、実際、反射してしまって案内が見えません。案内事体が暗く見えないので改善して頂きたいです。

先程の話でもありましたが、年金相談センターのエレベーターが使えないと車いすの方は、デッキ下へ下りることができなくなり、遠くの方を回って行かなければならないということを知りました。その為に、パリオのドアはとても重要な物だということを知って頂きたいと思いました。

(事 務 局) ありがとうございます。続きまして、質問はございますか。

(I 会 員) ルミネの前の小田急の方から J R の方へ向っていく通路の真ん中付近の天井に、昔は盲導鈴が付いていたのですが、最近は使われていません。J R の改札の所で盲導鈴が鳴っていますのでわかるのですが、外からのデッキから来た場合、ルミネの前を通過して丸井の前を通過するという案内があればいいと思います。使われていない盲導鈴がまだついているのであれば活かしてほしいです。そこを確認して頂きたく思います。

(事 務 局) ありがとうございます。他になにかご質問はございますか。

(一般参加者 J) 先程、東急ツインズイーストの前のエレベーターのあるところにミラーつけてほしいとお話だったのですが、あそこは一方通行だと思います。

(F 会 員) これは、バスセンターのエレベーターも同じなのですが、後ろから駆け込んでくる人を知らないでボタンを押してしまったりすることがあるので、乗るにしても降りるにしても後ろが見えないことには気をつけようがないのです。声をかけて

くれればいいのですが、黙って入って来る人もいて挟まったりしてしまったりする人もいますので、後ろが見えた方がいいと思います。ミラーというと大袈裟になってしまうので、シールのマジックミラーを貼るのがいいと思います。

(事務局) ありがとうございます。他になにかご質問はございますか。→質問なし
吉田先生お願い致します。

(職務代理) 9月のまち歩き点検の時には、今のような詳細な設計に関する議論も出てくると
思います。

エレベーターに乗っていて後ろから駆け込んで乗る人が来るときもありますで、
そういう所にも工夫が必要だと感じました。

この班のポイントは、店との境界ですね。誘導用ブロックが連続していない、途
切れている、ドア幅が狭いなど角の隅切りにぶつかってしまうなど、個別なこと
に関してご指摘頂いたと思います。

ペデストリアンデッキの上に屋根をつけていて、工事中でバリケードなどを張っ
ていますが、完成すると人々の動線が変わってくるかもしれません。今までです
と、JRの六角形の広場に縦横無尽に人が散らばって動いている感があるのですが、
完成すると沿って歩くようになり流れが変わってきて、途中にある柱の所にぶつ
かりそうになり、柱が邪魔になるのではないかとということが気になります。実際
に、完成する前にシミュレーションを行ったり、あるいはできてから備えて何か
を巻いておくなどの対策が必要なのではないかと思います。動線がどうなるか予
測ができないところがありますので注視しておくべきだと思いました。

(事務局) ありがとうございます。以上で4つのグループの発表が終わりましたが、全体
を通して何かご質問はございますか。

(一般参加者K) JRの点検ではあまり坂はなかったのですが、町田駅周辺には坂が沢山ありますが、
急坂のある所には手すりがついていましたか。

(一般参加者J) 小田急の駅から出たところの急な坂道には、スロープの降りる方向の左側に手す
りが付いています。でも、車いすの方には手すりはなんの役にも立たないです。
むしろ、すごく怖い所です。

(コンサル) バスセンターからターミナルを歩いたのですが、小田急町田駅の急なスロープの
所は手すりが付いておりました。町田東急ツインズのバス停の8'と9'乗り場に向
かっていく坂では、幅員が広くはなっているのですが手すりは付いておりませ
んでした。構内の所では、小田急町田駅の所からペデストリアンデッキに行く部分
の通路では手すりは付いておりました。

(事務局) 他にございますか。

(E委員) 質問ではないのですが、感想なのですがいいですか。

前々から思っていたことなのですが、ここ10年で色々な物がハイテク化されセキ
ュリティーが高まり、便利になり街がきれいになりました。丸井の前にはモザイ
ク模様のタイルが張られていたりきれいなのですが、きれいなタイルと誘導用ブ
ロックの区別がつきにくかったり、市の管轄の所から管轄外になると誘導用ブ
ロックがなくなったり、ドアの幅が狭かったりしています。便利になってセキュ
リティーが高くなってIT化になりハイテク化になったことで、車いすにとっては

とても不便になりました。券売機も昔はボタンが尖っていたのに、今は尖ってなくどこを押しているのか分からないということもおこっています。今日の問題にはでていないのですが、ATMはセキュリティーを上げるために、横からも後ろからも見えないようになっており、顔をディスプレイの真上に持ってこないでディスプレイの内容がよく読めない、見えないという状況があります。ボタンもウィンドウタッチで触ったか触らなかったのかよくわからない状況になり不便になっています。きれいな所ほど危ないと感じています。

(事務局) ありがとうございます。全体を通して吉田先生に総括をお願い致します。

(職務代理) 今日は長時間お疲れ様でした。色々発表頂きましたけど、共通した指摘は、駅においてはサインをどうするかと、パブリックのエリアからプライベートの所に入っていく所の繋ぎ目であるとか、様々なご指摘がでてきたと思います。最後のルート4のグループで出てきたような詳細な問題は、9月のまち歩き点検で出てくると思っています。バリアフリーを実際に進めていくときは、バリアフリーという大きな事業になっていますが、ひとつひとつ個別の事例について潰していかなければならないことだと思います。だからといって、それが一気に2012年4月1日からきれいになるかということはないのですが、では何もしないのかというわけではなくて、最初に交通事業者、商業主、自治体あるいは道路管理者が協力して、最初に作業を始められそうなこと、例えば、動線の計画、代替の動線とメインの動線をどういう風にしていくかという計画、あるいはサインをどういう形で誘導していくのかというサイン計画、道路空間の配分をどうするのかということは、やや時間がかかることなので腹を据えて議論していかなければなりません。そういうことに関しては、引き続きやっていくというスタンスを持って私達はやっていかなければならないと思います。一方で、券売機の指摘が3グループからでてきたことや案内板でもプラスチックの中に地図があることの見にくさが指摘されていました。いくらサインをうまく設定しても、いくらハイグレードな券売機にしても、省力化にはつながりますが、人の誘導などの人海戦術的なソフト面的な対応がかなり弱まってきているのが、ここ最近の流れだと思います。ハード整備に頼れない部分について、どうやってカバーしていくのかが、バリアフリーの計画では大変重要なところになってくると思われるので、今日出た意見を事務局の方で整理をして頂いて、9月にまち点検を行った上で、計画をたてていくということになりますので、引き続き、ご意見ご議論をいただければと思います。

<閉会の挨拶>

省略

<閉会>